

33 南黒岩町内会 (柿崎区)



集落の棚田風景



環境美化活動（ひまわり）



清水不動尊

インフラ等の整備状況

区分	整備状況				備考
飲料水	<input type="checkbox"/> 上水道	<input checked="" type="checkbox"/> 簡易水道	<input type="checkbox"/> 小規模水道	<input type="checkbox"/> 井戸	
生活排水処理	<input type="checkbox"/> 下水道	<input type="checkbox"/> 集落排水	<input checked="" type="checkbox"/> 浄化槽	<input type="checkbox"/> くみ取り	
ガス	<input type="checkbox"/> 都市ガス	<input checked="" type="checkbox"/> プロパンガス			
テレビ	<input type="checkbox"/> 個別受信	<input checked="" type="checkbox"/> CATV	<input checked="" type="checkbox"/> 共聴施設	<input type="checkbox"/> 難視聴	
インターネット	<input checked="" type="checkbox"/> 光ファイバー	<input checked="" type="checkbox"/> CATV	<input type="checkbox"/> ADSL	<input type="checkbox"/> 利用不可	
携帯電話	<input checked="" type="checkbox"/> docomo	<input checked="" type="checkbox"/> au	<input type="checkbox"/> SoftBank		
冬期間の ごみ収集	可燃ごみ 3 回 /週	紙・プラ製容器包装 1 回 /週	不燃ごみ 2 回 /月	缶・びん・ペットボトル 2 回 /月	
平均積雪量	<input type="checkbox"/> 2m以下	<input checked="" type="checkbox"/> 2~3m	<input type="checkbox"/> 3~4m	<input type="checkbox"/> 4m以上	
町内会費	年 30,000 円程度				別荘としての利用は 14,200 円

最寄りの施設等へのアクセス

区分	名称	距離	備考
① 市役所・総合事務所	柿崎区総合事務所	13.0 km	
② 保育園	下黒川保育園	10.7 km	
③ 小学校	下黒川小学校	10.6 km	スクールバス有
④ 中学校	柿崎中学校	13.8 km	
⑤ 高等学校	県立久比岐高等学校	13.6 km	
⑥ 医院(内科)	くろかわ診療所	5.9 km	
⑦ 医院(歯科)	下黒川歯科医院	10.5 km	
⑧ 総合病院	県立柿崎病院	13.0 km	
⑨ 地元商店	(マルカ)加藤商店	7.1 km	週1回、移動販売車で集落を巡回しています。
⑩ スーパー	ナルス柿崎店	12.7 km	
⑪ 金融機関・郵便局	米山寺郵便局	7.2 km	
⑫ ガソリンスタンド	JA えちご上越柿崎給油所	11.9 km	
⑬ バス停	南黒岩バス停	0.1 km	黒岩線デマントバス運行 6便/平日 (要予約)
⑭ 鉄道駅	JR 柿崎駅(信越本線)	13.6 km	

※距離の積算については、集落内にある集会所を起点とします。

(集会所がない場合は、集落の中心となる地点を起点とします。)

こんな移住者を歓迎しています！

- 豊かな自然と環境の中で農業経営を目指している若者で、高齢化する農業者の担い手となってくれる人を求めています。集落みんなで応援します。
- また、集落に数件関東方面から空き家を別荘として使用している方もおられます。大自然の中で退職後暮らしたいと思っている方も大歓迎します。

共同作業の実施状況

作業内容	実施状況	作業内容	実施状況
道普請や除雪などの共同作業	○	高齢者の見守り活動や声かけ	○
花木の植栽などの環境美化活動	○	旅行や運動会などのレクリエーション	—
集落の祭りや行事	○	集落外との交流や体験受入れ	—
神楽、雅楽、春駒などの伝統芸能	—	地元特産品の開発や加工・販売	—
冠婚葬祭時の助け合い	○	その他	—

生活組織の状況

組織名	実施状況	組織名	実施状況
子ども会	—	老人会	—
青年会	—	消防団	○
婦人会	—	その他	—
壮年会	—		

空き家のご紹介！

現在、空き家はありません。

移住者の紹介

埼玉県でコンビニエンスストアを経営していた60代男性が令和4年9月に「田舎暮らしに興味を持ちました。しばられない自由な時間と自然を楽しみたいです」と新しい生活を求めて移住をしてきました。

町内会（自治会）の自慢！

明治22年、町村制施行で南・北黒岩、峠が一村を形成し、黒岩村となり、明治34年には、狸平と東横山が水源村から分離して黒岩村に合併し南黒岩は、役場、学校や農協も置かれて黒岩村の中心として発展しました。また、昭和30年、柿崎町に合併当時は55世帯300人を超えていた集落も、過疎化が進み、現在11世帯15人となっています。しかし、平成28年に地域おこし協力隊員の家族、平成29年には吉川区在住の若者が農業研修終了後、集落で耕作できなくなった圃場を引き継いで稲作経営を始めるなど、新たな展開をしてきている楽しみな集落です。

是非、南黒岩集落に立ち寄った際には集落の皆さんにお声かけください。